

新規雇用創出数の累計

累計**1,600人** (R2年度～R6年度)

R2時点

314人

R3時点

639人

25～44歳の女性の就業率

83.3% (H27) → **85.3%** (R6年)

R2時点

数値なし

R3時点

84.2%

1 付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりの促進

報告書
4～7P

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく影響を受けた業種もある一方、半導体産業の好調な需要により好業績となった業種もあり、総じては前年度と同程度になるものと考えられる。
先端研究産業支援センター新棟（F棟）供用開始と産業集積団地造成とともに、サイエンスパークの振興発展を目指す（一社）鶴岡サイエンスパークの事業活動を支援し、バイオを核とする高度な産業集積の促進、産業を創る若い人材の増加に資する事業を展開する。

(1) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成

- 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業として、事業シーズの探索や入居企業の誘致、産学官研究交流推進事業を実施
- 拡張事業（F棟増築）を継続し、本体工事、関連工事（外構工事や既存棟の改修）を実施

(2) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興

- 中小企業新製品開発支援事業補助金で8事業を採択し補助金を交付
- 企業立地を進めるため、用地取得助成金、事業場設置助成金助成金、雇用創出助成金を交付
- 産業強化イノベーションプロジェクト推進事業では、新たな産業団地開発を検討するため、開発基本計画の策定に着手

高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|--------------|---------------------|---------------------|--------------|
| 5社 (R元年度) | 5社 (R2年度) | 5社 (R3年度) | 7社 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

上記ベンチャー企業の40歳未満の従業員（役員（非常勤を除く）及び正社員）数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|----------------|-----------------------|-----------------------|----------------|
| 187人 (R元年度) | 190人 (R2年度) | 182人 (R3年度) | 227人 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

従事者一人あたりの商工業等生産額

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|--------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|
| 696万円/人 (H27年度) | 696万円/人 (H27年度) | 696万円/人 (H27年度) | 800万円/人 (R6年度) |
| | 進捗：- | 進捗：- | |

報告書
10～12P

3 いきいきと働くことができる環境づくり

企業の求人増加や新型コロナウイルス感染症の影響による人口密集地を避ける傾向によって、地元就職が増加したと考えられる。オンラインを活用したインターンシップを実施や隔年開催予定のビジネスプランコンテスト及び関連事業を支援し、若年層の地元への愛着形成やビジネススキルの向上等を図るなど起業・創業環境の整備も含め地域の産業人材育成を推進する。

(1) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成

- 高校生等向けの職業体験や合同説明会・見学会などを関係機関と連携し実施
- オンラインでの企業合同説明会、企業PR動画の作成・配信や、採用力を高める企業向けセミナーを実施
- 新規創業促進助成金事業では、確かな経営知識を有する新規創業者を育み、地域産業の活性化を図るとともに、創業に係る初期費用の負担を軽減

(2) 仕事と生活の調和の促進

- 令和3年3月策定の第2次男女共同参画計画の概要リーフレットと計画書を作成し、市内公共施設等を通じて周知を実施

新規高等学校卒業者就職者のうち市内就職者の割合

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------|
| 50.6% (H31.3月卒) | 47.0% (R2.3月卒) | 54.8% (R3.3月卒) | 60.1% (R7.3月卒) |
| | 進捗：△ | 進捗：○ | |

やまがたイクボス同盟 鶴岡市加盟企業数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|---------------|----------------------|----------------------|---------------|
| 20社 (R元年度) | 38社 (R2年度) | 51社 (R3年度) | 78社 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

2 農林水産業の成長産業化の推進

報告書
7～10P

就農者は、農業法人数の増加や規模の拡大に伴い、法人等に雇用される形での新規就農者が増加したことにより順調に推移している。産直施設への支援では雹被害を受けた生食販売に向かない果樹の加工等の取組を支援したものの廃棄量が多く、販売額が減となった。林業事業者が実施する間伐事業を国補助金の高上支援により促進し、木材生産量の拡大につなげている。漁業生産額はコロナ禍での燃料費高騰等の影響を受け減少。魚価については魚の品質向上、需要増加により向上している。

(1) 農業を支える人材の育成・確保

- 地域定住農業者育成コンソーシアムが実施する食と農のビジネス塾をはじめ、新規就農者向けの合同研修や交流会開催等を支援
- 農業経営者と法人の後継者（雇用就農）の育成を目的とした鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）に2期生9人が入学

(2) 農産物の付加価値向上と販路拡大

- 鶴岡市6次産業化ファーストステップ推進事業、被災農作物6次産業化緊急支援事業による6次産業化に係る取組への支援（県・市合計で9件）を実施
- 農産物の地産地消の促進と販路開拓の取組を推進するため、農商工親連携コーディネーターを配置

(3) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり

- 森林経営管理法に基づく新たな森林経営管理システムの構築と運営を目的として、林業事業者が実施する森林整備に対する補助金の高上げや山形大学へ森林整備調査研究を委託

(4) 水産物の安定供給と漁村の活性化

- 市管理漁港の修繕や浚渫、県管理漁港の維持管理のほか、県と協調し、由良、米子漁港の機能強化を実施
- 漁業後継者の漁船取得等に係る資金借入への利子補給

新規就農者数（上段） うち新規参加者数（下段）

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|----------------------|--|---|----------------------------|
| 20人 11人 (R元年度) | 累計65人 累計18人 (R2年度) | 累計118人 累計42人 (R3年度) | 累計239人 累計132人 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

産直施設の販売額

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|
| 10.8億円 (H30年度) | 14.1億円 (R2年度) | 13.6億円 (R3年度) | 14.1億円 (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：◎ | |

木材生産量（民有林）

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 31,831m ³ (H30年度) | 44,202m³ (R元年度) | 48,063m³ (R2年度) | 48,000m ³ (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：◎ | |

生産額（上段） 魚価（下段）

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|------------------------------|---|---|-----------------------------|
| 11.6億円 460円/kg (H30年度) | 12.0億円 445円/kg (R2年度) | 10.8億円 476円/kg (R3年度) | 15.0億円 550円/kg (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：△ | |

4 ふるさと鶴岡を愛する教育の推進

報告書
12～14P

新学習指導要領の実施により、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業が取り組まれており、他者との関わり合いの中で、自分の考えを伝えることや他者の考えの良さに気付ける対話と協働の意識が浸透してきている。また、家庭教育講座についてはコロナ禍により講座を中止する場面もあったが、感染対策を講じながら実施しており回復基調が見られる。

(1) 次代を担う人づくりの推進

- 親子で楽しむ庄内論語の配布や、特色ある学校づくりを支援するための補助により学習機会を提供
- 温海中学校を研究拠点とし、各学習の場面でのICT機器活用に関する実証研究を実施

(2) 地域における人づくりの推進

- やまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中11校、幼保園、児童館等14施設）の実施
- 地域住民を対象とした地域子育て推進講演会（オンライン）の開催

全国学習状況調査における割合

- ①自己肯定感を感じている子ども（上段）
- ②他者との協働や共生について考えている子ども（下段）

※R3より調査項目からなくなったため変更。

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|------------------------------|--|---------------------------------------|------------------------------|
| ① 78.0% ② 54.7% (R元年度) | ① 78.0% ② 54.7% R2調査未実施 | ① 79.6 ② - (R3年度) | ① 82.0% ② 56.0% (R6年度) |
| | 進捗：- | 進捗：◎ | |

家庭教育支援講座を実施した施設割合

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|------------------|------------------------|------------------------|-----------------|
| 46.5% (H30年度) | 17.3% (R2年度) | 24.5% (R3年度) | 65.8% (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

転入者数と転出者数の差

▲394人 (H30年度) → ▲200人 (R6年度)

R2時点

▲413人

R3時点

▲406人

ふるさと寄附金の寄附件数

25,596件 (H30年度) → 173,000件 (R6年度)

R2時点

80,427件

R3時点

96,259件

報告書
15~17P

1 移住・定住・地元回帰の促進

移住件数については、継続的な相談対応のほか、移住体験（お試し住宅）や関わり体験（UIターンサポートプログラム）などの実施により、目標の水準を上回る実績を上げており、移住プロモーターを配置し情報発信をさらに強化するとともに、移住者交流会を開催し移住者の声を把握するほか、コロナ禍で実施を見送っていた帰省者交流会を再開する。若者の地元回帰促進については、足下ではコロナ禍による企業の採用抑制等の影響があるが、小中学校各校でのキャリア教育の実践を推進するためモデルプログラムの作成等に取り組むほか、学生及び社会人を対象とする奨学金返済支援事業の周知に努め、移住・定住・地元回帰意識の醸成を図る。

(1) 移住・定住の促進

- ・移住PR動画の作成（2本）やUIターンガイドの更新による情報発信の強化
- ・移住コーディネーターを中心とした相談体制の強化（移住相談171件、移住件数69件）
- ・UIターンサポートプログラムの実施（オンライン4回+フィールドワーク1回）
- ・移住支援金の支給（4件）等、移住支援制度の充実

移住定住施策による移住件数(年間)

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 32件 (H30年度) | 51件 (R2年度) | 69件 (R3年度) | 42件 (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：◎ | |

(2) 人材の流入と定着を図る環境の整備

- ・鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業として、事業シーズの探索や入居企業の誘致、産学官研究交流推進事業を実施<再掲>
- ・地元愛着と多様な職業観の醸成、地元就職の早期意識づけを目的とするキャリア教育の実践を支援するため、教員対象の研修や実践協力校での出前授業等を実施
- ・若者の地元回帰促進のため、つるおかエール奨学金返済支援事業を実施

高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業の40歳未満の従業員(役員(非常勤を除く)及び正社員)数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 187人 (R元年度) | 190人 (R2年度) | 182人 (R3年度) | 227人 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：△ | |

2 関係人口・交流人口の拡大

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏等からの観光客・外国人旅行者が減少したが、感染症拡大の終息を見据え、本市の歴史・文化や日本遺産など固有の資産を活用するとともに、マイクロツーリズム等の新しい観光ニーズに対応し「世界から認められる観光都市の実現」を目指す。オリパラを契機とするドイツ・モルドバとの交流を継続する仕組みを検討し、市民スポーツの促進や地域の魅力の国際発信に取り組むほか多言語掲示板の整備による情報発信の強化や近年多発する自然災害に備えて在住外国人のための多言語防災ハンドブックを作成する。

報告書
17~23P

(1) 文化資源の保存・継承・活用

- ・酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会が行う、入部400年に向けた普及啓発、機運醸成等の事業に対して補助し、庄内一円で地域の歴史と文化の理解、シビックプライドを高める取組を実施
- ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会による高校生等の取組への支援を通じた普及啓発、ワークショップの実施等を支援
- ・市内の指定文化財の保存修理に係る補助金を交付（国指定文化財修理6件、管理費補助金15件）
- ・文化財保存継承のためのデジタルアーカイブ構築に備えた、指定文化財写真のデータ整理

文化財施設入館者数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|---------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 993,275人 (H30年度) | 483,168人 (R2年度) | 680,464人 (R3年度) | 1,110,000人 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

(2) 鶴岡ならではの観光の振興

- ・鶴岡ふうどガイド育成強化事業及び食文化研修プログラムを有効活用した旅行商品造成等の実施
- ・コロナ禍における新しい観光ニーズに対応するため、リモートワーク・ワーケーションの推進を目指す団体に対し、調査や計画作成等に係る補助金を交付し支援
- ・令和7年度の加茂水族館10周年リニューアルに向け、施設整備のための基本設計を実施

観光入込客数(上段) 外国人延べ宿泊者数(下段)

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 637万人 7,924人 (H30年度) | 601万人 982人 (R2年度) | 337万人 937人 (R3年度) | 760万人 50,000人 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

(3) 市民スポーツの振興

- ・ホストタウン登録国（ドイツ及びモルドバ）との人的・経済的・文化的相互交流の実施。地域の活性化等を推進するため、鶴岡ホストタウン推進委員会の活動を支援
- ・共生社会の実現を目指しパラスポーツの普及・促進を進め、ポッチャの体験会やルール等の指導や競技大会を実施
- ・総合型地域スポーツクラブを訪問し活動状況や課題を把握したほか、安定したクラブ運営を支援するため、市有施設使用料の一部減免等を実施

「運動・スポーツに関するアンケート調査」における割合
①成人週1日以上の運動実施率(上段)
②成人週3日以上運動実施率(下段)

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|-------------------------------|------------------------------|--|------------------------------|
| ① 53.7% ② 21.9% (H30年度) | ① 55.4% ② 34.3% (R2年度) | ① 55.4% ② 34.3% ※R3調査未実施 (R3年度) | ① 65.0% ② 30.0% (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

(4) 国際化の推進

- ・多文化共生推進事業（出羽庄内国際交流財団への補助）では、新型コロナウイルス感染症拡大に対応し、各種語学講座をオンラインで実施したほか、新たにオンラインツアーを開催
- ・在住外国人支援として、電話やオンラインでの相談業務やSNS、ボランティアによる情報を提供

外国語講座及び日本語講座受講者数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|-------------------|------------------|----------------|------------------|
| 1,276人 (H30年度) | 1,114人 (R2年度) | 937人 (R3年度) | 1,576人 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

(5) 交流・連携の推進と基盤の整備

- ・公共交通へのICT導入について、先進地より講師を招き研修会を実施
- ・鼠ヶ関IC(仮称)隣接地への道の駅あつみを移転整備に関し、事業手法をDBO方式に決定し、整備予定地の物件調査、地元説明会等を開催

日本海沿岸東北自動車道 鶴岡西IC利用台数(台/日)

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 7,225台 (24,152台) (H27年度) | — (20,461台) (R2年度) | — (21,437台) (R3年度) | 11,300台 (34,118台) (R6年度) |
| | 進捗：— | 進捗：— | |

※参考：()内は年度別車種別通行台数(台/日)

合計特殊出生率（出生数）

1.49(749人) (H30年) → 1.71(800人) (R6年)

R2時点
1.41
(702人)

R3時点
数値なし
(681人)

子育て環境や支援への満足度

27.6% (R元年度) → 42.0% (R6年度)

R2時点
数値なし

R3時点
数値なし

1 結婚支援の推進

報告書
24~25P

新型コロナウイルス感染症の影響により、独身男女の出会いの機会となるイベント自粛や、結婚控え等が生じたため実績につながりにくい状況であったが、交際や出会いの際に必須となるコミュニケーションスキルや結婚などライフプランを学ぶ機会を提供するなど、婚活イベントの開催や「つるおか婚シェルジュ」による世話焼き活動等について引き続き推進する。

(1) 結婚を希望するひとを支援する環境づくりの推進

- 「つるおか婚シェルジュ」による1対1のお見合い支援やショッピングモールでの結婚相談会の開催
- 結婚に伴う新生活のスタートアップ費用に対する支援制度を開始
- つるおか婚活支援ネットワークに加盟する企業・自治会と連携した婚活イベント、婚活セミナーや、市主催の婚活イベントとして地域資源を活かした「つるおか恋するデイキャンプ」を開催

つるおか婚シェルジュの世話焼き活動による婚姻組数（累計）

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 15組 (R2.1月末) | 16組 (R2年度) | 20組 (R3年度) | 44組 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

2 妊娠・出産・子育ての支援

報告書
25~27P

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援事業の縮小が余儀なくされたが、感染症対策を講じながら安心安全な遊び場を提供するほか、子育てアプリの活用等により効果的な情報発信に努める。また、発達障害児等に対する専門保育士による発達相談や助言指導等支援を継続するとともに、相談記録システムの効果的な運用により要保護家庭への支援の充実、虐待の未然防止を図る。放課後児童クラブについては、施設の老朽化や狭隘化の課題に対応する整備計画を作成する。

(1) 子どもを産み育てやすい環境の充実

- すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会を2回開催し、関係機関による情報共有するとともに、オンラインの子育て講演会や出前子育て懇談会のほか、すこやかネット通信を発行
- 新型コロナ感染症対策を講じながら、相談支援、あそび場の提供等、安心して子育てできる環境づくりを推進したほか、専門保育士による乳幼児期の発達相談や助言指導を実施
- 要保護児童対策として児童家庭相談記録システムを導入し、要保護家庭等への支援を実施
- 子育てに関する情報発信と子育て世代の利便性向上のため、つるおか子育てアプリを導入
- 第3子以降の保育料について、国の無償化制度対象外の0歳から2歳の子どもの保育料を市独自で無償化。また、中学3年生までの医療費自己負担分を助成した
- 市内保育園等で構成する「つるおか森の保育研究会」の活動を中心に、自然体験活動を推進するとともに、第11回つるおか森のフォーラムで活動成果を発表
- 放課後児童クラブの運営を委託するとともに、放課後児童健全育成事業補助金により事業実施を支援。
- 家庭教育推進事業として、小中学校や幼稚園等で保護者が集まる機会を活用した、やまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中11校、幼保園、児童館等14施設）、地域住民を対象とした地域子育て推進講演会をオンラインで開催

本市の「子育てのしやすさ」の評価で「しやすい」又は「ややしやすい」と回答した保護者の割合

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|------------------|---------|-----------------|-----------------|
| 38.3% (H27年度) | R2調査未実施 | 20.6% (R3年度) | 50.8% (R6年度) |
| | 進捗：- | 進捗：△ | |

3 男女共同参画の気運醸成

報告書
27P

国や県から発出されるワーク・ライフ・バランスの推進やイクボス等の情報を、適時、市内企業等に提供し周知を図っていることや、社会全体で子育てを応援する意識や体制が整いつつあることが、加盟企業の増加に寄与しているものと考えられる。ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の重要性を啓発し、第2次計画に定めた8つの数値目標の達成に資する具体的な取組みを進める。また、性別を限定しない講座を増やし、多様な学習機会を提供する。

(1) 男女共同参画と互いに尊重し合う社会づくりの推進

- 令和3年3月策定の第2次男女共同参画計画の概要リーフレットと計画書を作成し、市内公共施設等を通じて周知を実施<再掲>
- 中央公民館女性センターでは職業支援や家庭支援に関する講座等を開催、R3年度はジェンダーをテーマにジェンダーバイアスや性の多様性について学ぶ機会を提供

やまがたイクボス同盟
鶴岡市加盟企業数

| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 20社 (R元年度) | 38社 (R2年度) | 51社 (R3年度) | 78社 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

基本目標4

地域の支え合いを通じて、まちの安全を守り、活気を生み出す

中心市街地イベントの人出数累計
483,500人 (R2年度～R6年度)

| | |
|---------|---------|
| R2時点 | R3時点 |
| 21,185人 | 31,484人 |

地域活動事業参加者の割合
83.3% (H30年度) → **89.4%** (R6年度)

| | |
|-------|-------|
| R2時点 | R3時点 |
| 37.0% | 38.0% |

総合防災訓練参加者の累計
2,700人 (R2年度～R6年度)

| | |
|------|------|
| R2時点 | R3時点 |
| 322人 | 322人 |

1 まちの賑わい創出と支え合うコミュニティの形成

報告書
28～33P

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や観光客の減少が影響した郊外地への移転等があり、空き店舗が増加したことが考えられる。イベント等開催にあたっては感染対策を講じたうえ、入店しやすい店づくりや効果的な情報発信技術向上等をテーマにしたセミナーを実施する。新たに設けられた庄内交通の地域連携ICカード（Cherica）の販売及び利用促進策を講じるとともに、民間交通案内アプリの利用促進に努め、移動の際の利便性を高める。まちづくり活動も制限を余儀なくされたが、令和3年度は3地区で地域ビジョン策定が完了している。さらに住民自治組織の主体的な地域づくり活動を推進するため、アドバイザー職員制度等により他地区の地域ビジョン策定を支援する。

(1) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出

- 中心市街地でのイベント支援やチャレンジショップ支援事業の実施
- 消費喚起施策として令和3年3～4月にキャッシュレス促進・消費喚起事業を実施
- 空き家、空き店舗を活用し4件（チャレンジショップ事業2件、空き店舗リフォーム支援事業2件）の創業を支援

(2) 快適な都市環境の形成

- 茅原地区の特性を活用した「福祉・医療・商業が共存する、出会いと交流のまちづくり」を目指し、組合が行う、換地計画の策定業務に対する助成及び公園整備、保留地処分、換地処分等に対する指導助言を実施
- 「城下のまち鶴岡将来構想・鶴岡駅前地区将来ビジョン」を策定
- 条件付き公募により売却となった公有地（本町1丁目）への民間事業者による店舗・住宅の複合施設整備の実施設計を補助

(3) 公共交通の再編や整備による利便性の向上

- 県の「地域公共交通プラットフォーム構築（デジタル化）事業」に取り組み、市営バスや温海乗合タクシーの定期運行路線について、民間交通案内アプリに反映

(4) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進

- 地域課題解決の取組や地域ビジョン策定等住民主体の地域づくり活動に対し、アドバイザー職員を派遣(17地区に職員35名)
- ワークショップ、研修会の開催など住民自治組織が行う地域づくり活動や体制づくりを支援

(5) 過疎地域の活性化

- 鶴岡市過疎地域持続的発展計画（R3～7）を策定し、全市計画として過疎対策に取り組んでいく素地を整備
- 朝日・温海地域に集落支援員を配置し、単独集落では解決できない課題について、広域コミュニティ化による解決方法を模索

中心商店街における自転車歩行者数(休日・平日の平均)

| | | | |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
| 3,934人 (令和元年度) | 2,457人 (R2年度) | 2,878人 (R3年度) | 4,116人 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

中心商店街における空き店舗率

| | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 8.8% (令和元年度) | 10.2% (R2年度) | 10.9% (R3年度) | 6.0% (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合

| | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 5.41% (H30年度) | 5.39% (R元年度) | 5.29% (R2年度) | 5.49% (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

平成29年度を100とした場合の路線バスなど利用者指数

| | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 99 (H30年度) | 96 (R元年度) | 76 (R2年度) | 100 (R6年度) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

地域ビジョン策定件数(累計)

| | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 8件 (R元年度) | 8件 (R2年度) | 11件 (R3年度) | 17件 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

平成30年現在の推計値と比較して人口減少や高齢化が抑制されたモデル地区数(累計)

| | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1地区 (R元年度) | 2地区 (R2年度) | 3地区 (R3年度) | 7地区 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

2 安全・安心な暮らしを守る

報告書
33～38P

庄内病院では、新型コロナウイルス感染症対策と通常診療の両立に努め、市立病院としての医療提供を実施した。コロナ禍による市民の受診控えが続いているが、SNSを活用した事業の案内や啓発等を推進する。各地区での地域防災力の更なる向上のため、計画策定の支援、働きかけ等を実施したより地区防災計画の策定状況は順調に進行している。

(1) 医療提供体制の充実

- 5疾患で地域連携パスを運用し、庄内病院での治療後も地域のかかりつけ医と連携し、安心して医療を受けられる体制を確保
- 臨床研修医受入に向け、県研修病院ガイダンスへの参加や病院独自のオンライン説明会等を実施し、臨床研修医5名を確保
- 国立がん研究センター東病院との医療連携に必要な電子カルテの共有化を実施のほか、遠隔診療のための「テレビ会議システム」や、庄内病院での「がん手術をモニターを通して支援を受ける「遠隔手術支援サポートシステム」を整備

(2) 高齢者が健康で生き活きとした地域の実現

- 生活支援コーディネーターが地域課題と解決に資する取組をマッチングし、地域での支え合いの体制構築を推進
- 住民同士の支え合いによる地域づくりのための「担い手養成研修」を開催し、30名が受講
- 高齢者等の全学的な見守り体制の整備に向け、令和3年度は「安心カード」の周知チラシを作成
- 家族介護者のほか介護に関心のある方を対象に「家族介護者交流のつどい」を開催し、介護者同士の交流・介護相談に加え、介護技法等学びの機会を提供（11回、延べ114人参加）

(3) こころと体の健康づくりの推進

- がん検診の普及啓発として、商工会議所、労働基準協会等職域へのチラシ配布のほか、県等と連携し、大型店舗を会場に受診啓発グッズの配布、パネル展示、健康相談等のキャンペーンを実施
- 令和3年度は7地区（2・4・5学区、加茂・三瀬・羽黒・温海地区）をがん予防重点地区として設定し、がん予防に関する健康教育事業を実施
- 自殺予防のための相談先の周知、こころのサポーター養成・健康相談の開催などハイリスク者等に対して個別ケアを実施

(4) 地域の防災・防犯力の強化

- 自主防災計画の見直しや新たに作成を検討している自主防災組織に対し、地区防災計画サンプルの提供や計画内容について助言
- コミセン単位での地区防災計画の作成を推進

(5) 安全・安心な生活基盤の整備

- 住宅セーフティネット制度による、住宅確保に配慮が必要な高齢者や障害者等の入居を拒まない登録住宅について、要配慮者専用住宅とする場合の改修費への補助、家賃・家賃債務保証低廉化補助を実施

庄内病院における患者サービスの満足度指数

| | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 現状値 | R2実績値 | R3実績値 | 成果指標 |
| 90.6% (令和元年度) | 92.4% (R2年度) | 91.2% (R3年度) | 93.2% (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：○ | |

要介護認定率

| | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 19.43% (H31.3月末) | 19.29% (R2.3月末) | 18.21% (R3.3月末) | 19.07%以下 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：◎ | |

がん検診受診率

①胃がん検診受診率 ②大腸がん検診受診率
③肺がん検診受診率 ④乳がん検診受診率
⑤子宮がん検診受診率

| | | | |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| ① 32.6% | ① 27.5% | ① 29.7% | ① 34.4% |
| ② 39.3% | ② 35.1% | ② 37.9% | ② 40.7% |
| ③ 41.1% | ③ 36.5% | ③ 39.4% | ③ 43.3% |
| ④ 22.9% | ④ 20.9% | ④ 20.4% | ④ 24.5% |
| ⑤ 31.7% (H30年) | ⑤ 30.4% (R2年) | ⑤ 30.4% (R3年) | ⑤ 34.5% (R6年) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

人口10万人あたりの自殺者数

| | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 21.3 (H29年) | 17.8 (R2年) | 24.1 (R3年) | 15.3 (R6年) |
| | 進捗：△ | 進捗：△ | |

地域防災計画上での地区防災計画策定組織数(累計)

| | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 0件 (R元年度) | 15件 (R2年度) | 34件 (R3年度) | 18件 (R6年度) |
| | 進捗：◎ | 進捗：◎ | |

住宅確保要配慮者専用住宅登録戸数(累計)

| | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 34戸 (R2.1月末) | 697戸 (R2年度) | 735戸 (R3年度) | 757戸 (R6年度) |
| | 進捗：○ | 進捗：○ | |

横断的目標1

多様な人材の活躍を推進する

25～44歳の女性の就業率【再掲】
83.3% (H27) → **85.3%** (R6年)

| R2時点 | R3時点 |
|------|--------------|
| 数値なし | 84.2% |

障害者の実雇用率
2.08% (R元年度) → **2.30%** (R6年度)

| R2時点 | R3時点 |
|--------------|--------------|
| 2.03% | 2.13% |

横断的目標2

新しい時代の流れを力にする

未来技術を活用した地域課題解決のための
新たな取組件数 **累計5件** (R2年度～R6年度)

| R2時点 | R3時点 |
|--------------|--------------|
| 4件取組中 | 4件取組中 |

温室効果ガスの削減 **983.9kt-CO₂** (H28年度)
→ **829.7kt-CO₂** (R6年度)

| R2時点 | R3時点 |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 888.3kt-CO₂ | 861.2kt-CO₂ |

1 全世代全対象型地域包括ケアの推進

- 地域の医療や介護資源の把握と連携についての課題を抽出し、切れ目のない在宅医療と在宅介護の在り方を立案。荘内病院と鶴岡地区医師会に一体的に委託し包括的支援事業として実施した。
- 協議会の4部会（相談支援・こども・発達障害・しごと）を毎月開催し、事業者間の情報共有を図った。
- 生活支援コーディネーターが地域課題と解決に資する取組をマッチングし、地域での支え合いの体制構築を推進した。
- 住民同士の支え合いによる地域づくりの担い手を養成する「担い手養成研修」を開催し30名が受講した。
- 高齢者等の全市的な見守り体制の整備に向け、R3年度は「安心カード」の周知チラシを作成した。
- 家族介護者のほか介護に関心のある方を対象に「家族介護者交流のつどい」を開催し、介護者同士の交流・介護相談に加え、介護技法等学びの機会を提供した。（11回、延べ114人参加）

2 輝く女性活躍の推進

- 関係課での連携の下、庁内版小町Café、市長と女性管理職との意見懇談会を開催した。
- 育児介護等に関する休暇制度のリーフレットを作成し、制度周知を図った。
- 共通テーマに沿って関係所管課によるプロジェクト会議、ワーキング会議を開催し、各単独事業を所管課にて実施した。
- 令和3年3月策定の第2次男女共同参画計画の概要リーフレットと計画書を作成し、市内公共施設等を通じて周知を実施した。
- 中央公民館女性センターでは職業支援や家庭支援に関する講座等を開催、R3年度はジェンダーをテーマにジェンダーバイアスや性の多様性について学ぶ機会を提供した。
- 庄内産業振興センターを通じ、産業界及び教育機関と連携して各種教育訓練や研修等を実施（17講座、239名受講。感染症拡大防止の観点から例年より講座数を減少して開催）したほか、中小企業が主体的に取り組む社内研修に対し助成（3社）を行った。
- 家庭教育推進事業として、保護者を対象としたやまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中11校、幼保園、児童館等14施設）を実施したほか、地域住民を対象に地域子育て推進講演会をオンラインで開催した。
- 7ヶ月児を対象に絵本を贈呈するブックスタート事業では646人に絵本を贈呈した。

1 食文化・食産業創造の推進

- 料理人のための食文化創造アカデミーの開催（6回）により、他国との食文化の比較、ローカルテロワール等料理人を対象にフィールドスタディを開催（4回：魚醤、環境保全と和牛、焼畑、庄内浜の魚）し、現場の視察を含めた研修の機会を創出した。
- 令和4年度に実施する「食と食文化の魅力プロモーション事業」のプレ・試行事業として「魚の美味しいまち鶴岡キャンペーン」を展開。飲食店での周知・取組み支援のほか、消費拡大・消費促進を目的とした抽選キャンペーンを実施した。
- 学校給食有機米提供事業で市内全小中学校への有機米の提供（各2回、合計19,810食）を支援した。
- 有機農産物ブランディング事業においてWebメディアを利用した記事掲載や、SNS広告を活用してSHONAIROOTSブランドのプロモーション及び小売等のバイヤーとの商談のため、訪問等の活動を実施した。
- 地域自給圏形成支援事業において地域農業者、加工業者、小売業者、大学とのネットワークを構築し、耕畜連携によるウインナーなどの加工品の販売を支援した。
- 郷土料理、地域食材を活用した料理教室等を補助し開催を支援した。
- 生産者が行う在来作物を次世代へ伝承するための取組（採種方法の研修・実証、生産技術の伝承、販売手法の研修、販促資材の製作など高付加価値化）や普及啓発、食育に係る取組を支援した。

2 地域の国際化とSDGsの推進

- 多文化共生推進事業（出羽庄内国際交流財団への補助）では、新型コロナウイルス感染症拡大に対応し各種語学講座をオンラインで実施したほか、新たにオンラインツアーを開催した。
- 万全な感染対策を施しワールドバザール（参加者1,100人）と音楽祭（144人）を実施した。
- 在住外国人支援として、電話やオンラインでの相談業務やSNS・ボランティアによる情報提供を行った。
- 旅行商品の企画・販売による交流人口、インバウンドの拡大を目的として、鶴岡ふうどガイド育成強化事業と食文化研修プログラムの有効活用について（一社）DEGAMに委託し、旅行商品の造成等を実施した。
- インバウンド向けに、オンライン記事2本を掲載したほか、動画1本を投稿し、情報発信の強化を図った。
- 自然学習交流館ほとりあを中心に、自然学習、小学校総合学習等の受入れ、ワークショップ等のイベントを実施した。
- 再生可能エネルギー設備普及促進事業において、太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用装置の導入に対する補助を32件実施した。